

## 内 科

伊勢崎市民病院は地域の急性期病院として中心的役割を果たしており、1日平均1100人以上の外来患者、1日平均80人以上の救急患者が来院します。このため、common disease から稀な疾患まで多彩な症例を経験できます。消化器内視鏡検査は年間1万件以上、気管支内視鏡検査は100件以上の実績が示すように、内視鏡検査をはじめとする内科専門手技を確実に習得できる環境が整っています。また、各種カンファレンス、CPC、文献抄読会、院内講演会が定期的で開催されており、常に情報交換がなされています。さらに、日本内科学会認定医制度教育病院のほか、各種内科系学会の認定施設となっており、1年次終了後の内科認定医、2年次以降の内科専門医、各科専門医取得をめざして研修できる。など、皆さんの内科後期研修を充実したものとするために必要な特徴を備えています。

当院の内科シニアレジデントプログラムでは、専門家である前にまずジェネラリストたる内科医養成を目標としています。従って、1年目には「消化器内科」、「肝臓病内科」、「呼吸器・アレルギー内科」、「内分泌・代謝内科」、「循環器内科」、「神経内科」の内科各科をローテイトしていただきます。1～2か月ごとに所属が変わることによる断片的な研修を防ぐため、所属する病棟ごとに半年のローテーションとしています（例：消化器内科、内分泌・代謝内科、神経内科が所属する病棟に半年）。また、担当した患者は、退院まで責任をもって診療できるよう配慮しています。さらに、月に数回の外来担当日を設け、一般内科診療（新患、再来）に携わっていただきます。これは内科プライマリケアに外来診療研修は不可欠であると考えからです。

シニアレジデント2年次および3年次は一般内科研修と並行して希望する専門科の研修を行います。2年次以降にも専門分野を限定したくない方、あるいは総合内科医を目指す方には、希望する診療科の専門技術研修を行いながら、複数の科を研修するプログラムを要望に応じて作成することが可能です。

3年間の研修期間を通じて、ただ受身に学ぶだけでなく、情報を発信できる内科医になってもらいたいと考えています。内科学会地方会、各内科系学会での症例報告、研究発表はもとより論文執筆等を積極的に行っていただきます。